

## 主イエスと 出会う場所

佐賀神の教会 牧師 相原 典之



● 相原 典之 師

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。」  
ヨハネ 15・16

早いもので、一九八八年のクリスマスに洗礼の恵みにあずかってから、もう二十二年になります。私は、家族・親族にキリスト者はいなかったのですが、大学生の頃、あるきっかけがありキリスト者の作家三浦綾子さんの著作を読み、キリスト教に関心を持つようになりまし。就職してからも三浦さんの作品を読み続け教会に行きたいと

いう願いが強まりましたが、なかなか踏み出せずにいました。しかし、ある日勇気が与えられ、当時住んでいた場所の近くにあつた北野キリスト教会に通うようになりました。二ヶ月後の特別伝道集会で受洗の決心をし、牧師の松沢信広先生に洗礼準備会をしていただくようになりました。何回目かの学びで、「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだのである。」(ヨハネ 15・16)との主イエスの御言葉が開かれました。その時、まったく予期していなかった出来事が起きました。今まで背負ってきた心の重荷がすべて降ろされ、主イエスの愛で心が満たされたのです。後から振り返ると、生育歴の問題でずっと葛藤していた私、人に隠れて行なってきた罪や心の闇を抱えている私をすべてご存じで、「そういうあなたにもかわらず、いや、そういうあなただからこそ、わたしはあなたを選んだ。わたしを信じ、新しく生きなさい。」と御声をかけて主イエスが私と出会ってくださいただと確信しています。

牧師になつてから、私と主との出会いを見事に言い当てた言葉に出会いました。「人間というものは、どうしても人に知らせることのできない心の一隅を持つております。醜い考えがあり

ますし、また秘密の考えがあります。またひそかな欲望がありますし、恥がありますし、どうも他人に知らせることのできないある心の一隅というものがあり、そういう場所でアブラハムは神様にお眼にかかつています。そこではか神様にお眼にかかる場所は人間にはない。人間がだれはばからずしゃべることのできる、観念や思想や道徳や、そういうところで人間はだれも神様に会うことはできない。人にも言えず親にも言えず、先生にも言えず、自分だけで悩んでいる、また恥じている、そこでしか人間は神様に会うことはできない」(森有正『土の器に』より)。私と同じような「心の一隅」を持つ人々が、まさにそこで主イエスと出会うことができるように、牧師として用いていただきたいと心より願っています。

